

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都整-08 河川管理運営事業 <input type="checkbox"/> 支援部門				ザイムスコード及び個別事業名				
					335	河川整備・維持管理事業			
主管課	道水路管理課		関連課 河川課						
分野名	安全で快適な生活が送れるまち								
目標 (目標値)	市民参加型で、より地域に則した整備と管理								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	1,488千円	3,653千円						
	(国・県)						指標と評価		
	(負担金等)						指標	実施団体	
	(一般財源)	1,488千円	3,653千円				評価	△	
	人員配置数	0.4人	0.4人				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	3,640千円	3,608千円					目標値	実績値
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	5,128千円	7,261千円	20年度	5団体	5団体			
	市民1人当 りの経費	29円	41円	21年度	4団体	4団体			
	対象者1人 当りの経費			22年度					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度					
				最終年度 ( 年度)					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 鎌倉市道路・河川維持管理協力団体について：四半期に1度提出の河川維持協力団体業務状況報 告書は、団体によって内容の充実度にバラつきがある。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 内容が充実している団体の報告書を他の3団体に見せ、内容の改善を促したところ、活動状況の写 真が添付される等の効果があった。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 3団体は、団体発足から10年以上経過しており、高齢化等によりメンバーも人数、活動に苦慮してい る。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 団体が抱えている課題・問題点があるようであれば、市から面談をお願いし、団体の必要性を訴え、 活動を継続してもらうよう粘り強く対応をしたい。							
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	当面は現状を維持していく一方で、更 なる河川の良好な環境を維持するエ リアを拡大するため、協力団体加入 を増やしていく方向も視野に入れたい。		評価結果	改善の必要性	単に川を清掃するのではなく、生態系を壊さ ないような配慮をしながら行っている活動は、 管理者にとって協力団体は、貢献度が高い。 実情は、現状維持であるが、発足したい団体 があれば、積極的に受け入れたい。			
B	有			B	有				
課長名		道水路管理課長 稲葉 一男		部名・部長名		都市整備部 山内 廣行			